

嘉手納飛行場周辺の防音工事について

基地被害の騒音軽減を図るためにも防音工事対象区域を85Wから75Wまで引き下げ、拡大できないか。ちなみに、山口県の岩国飛行場では85Wから80Wに引き下げられているが県の対応は。

嘉手納統合案に危機感

記者のメモ
「普天間飛行場の嘉手納統合案を押し付けられ、県内の全ての基地運用に支障を来す」と訴える中川県議(自民、中頭郡)は、普天間基地の住民生活に「米軍と直接に言っている。住民目線で見れば、基地問題の解決には政府には頼れない」と話している。



米軍普天間飛行場の嘉手納統合案に反対する中川県議 (平成23年6月12日)

知事公室長

W値85以上の区域については、平成20年3月10日までに建築された住宅まで対象を拡大されたことは、一定の前進と考えている。引き続き騒音対策の強化を図るため、住宅防音工事対象区域を拡大するよう軍転協関係機関とも連携しながら政府に強く要望してまいりたい。

米軍基地からの雨水による民間地域への被害について(北谷町)

知事公室長
沖縄防衛局は民間地域への浸水やブロック塀損傷について、適切な対応をするとのことであり、再発防止策として平成25年度までに基地内の雨水排水路整備を計画しているとのことでもあります。

TPP(環太平洋連携協定)について

知事公室長
TPP問題は、離島農業の崩壊を招きかねず、また、農業以外のものにも大きく影響を与える。TPPには反対であり参加するべきでない。県の対応は。



党派を超えてTPP反対運動をする中央の中川県議と翁長、新里両県議

農林水産部長
さとうきび生産が主要な産業となっている離島地域においては、人口流出、産業や経済の衰退など地域社会に及ぼす影響が極めて大きいと思慮。そのため、TPP交渉に参加しないよう適切に対応すると共に、農業団体と連携し、国に要請しているところでもあります。

白比川の冠水被害について(北谷町)

土木建築部長
暫定的に調整池を設置して対応が十分でなかったことから、今後米軍基地の一部返還を含めた白比川改修整備に取り組むこととしています。



仲井眞知事に対し、北谷町議の皆さんと状況説明を行う現場主義の中川県議。(白比川の冠水被害について 平成24年4月21日)

嘉手納基地のC-130輸送機やF-15戦闘機の燃料漏れ事故の県の対応について

知事公室長
軍転協とも連携し、米側に対し実効性のある再発防止と安全管理について万全を期すよう強く求めてまいります。

読谷村県道6号線の交通渋滞の対策について

土木建築部長
県道6号の渋滞原因は、楚辺入口や高志保等の交差点の右折車両の渋滞が原因と思われるので、右折帯の設置について検討してまいります。

公共工事の最低制限価格について

県内建設業は、公共工事の削減や改正建築基準法の施行による影響などにより経営環境は厳しさを増している。については、公共工事の最低制限価格設定について、85%の上限から90%へ引き上げてもらいたい。

答弁

県内建設業が地域経済や雇用の下支えとして大きな役割を果たしていることは承知。については、最低制限価格設定を85%から90%へ引き上げるようにしたい。

海の牧場(海洋牧場)について

本県における地産地消を推進する立場から、食の安全と一年を通して安定供給するため、定置網から取れる活きた魚を県民に供給できる海の牧場の設置は可能か。

記者のメモ
海の牧場 実現手応え?
「読谷村の大型定置網を仲井眞知事や読谷村長が視察した中川県議(自民、中頭郡)は、読谷村の「海の牧場」の実現に向け、知事に現場を見せろという強い思いで、定置網で採れた大量の魚を「牧場」に放し、市場の需要に合わせて出荷する構想だ。シンベツサメやミナミサメをタイパに近接させてみせる観光資源の狙いもあつたという。理解は深まったと政策実現に手応え。

「海の牧場」県が検討

観光漁業や加工施設整備
県は水産資源の有効利用や魚の産地を確立し、読谷村の観光資源として「海の牧場」を整備する可能性を検討している。

農林水産部長

平成23年に襲来した台風は5万円で、農作物が68億4000万円、農業用施設関係が8億9000万円、畜産関係が8000万円、林業関係が2億円、水産業関係が7億2000万円の合計約87億円となっています。

平成23年度台風被害状況について

国関係公共工事の受注率について

土木建築部長
総合事務局関係では、平成20年度48%、平成21年度59%、平成22年度64%、防衛局関係では平成20年度69%、平成21年度72%、平成22年度49%(割合低下の事由は特殊な機械や技術を用いる飛行場のコンクリート舗装や覆土式燃料タンク等の工事割合が大きかったため)となっております。



石嶺村長をはじめ読谷村漁業組合より要請を受け、仲井眞知事、読谷村議、中川県議、仲宗根県議、中川キヨキが現場視察(平成23年8月25日)



仲井眞知事に引き上げられる定置網の様子(網の老朽化等)を訴える(読谷沖 平成23年8月)

平成24年4月2日(月) からパスポート窓口が増えます!!
平成24年4月2日(月) 窓口開設市町村
本 島：沖縄市、今帰仁村、読谷村、嘉手納町

記者のメモ
市町村でも旅券発給を
「パスポートの発給業務を市町村でも実施してほしい」と訴える中川県議(自民、中頭郡)は、地方分権による県の権限委譲で市町村窓口も発給できるようになったが、実施している市町村はなく、中部に旅券センターがないことから、各市町村で実施すれば、すでにセンターのある宮古、石垣島以外の離島住民や申請書記入に不慣れた年寄りにも喜ばれる。これこそ本当の住民サービスだ」と強調する。嘉手納町議のころから必要性を強調してきた長年の公約実現へ、進歩を宣言。



仲井眞知事に対し読谷村石嶺村長と共に定置網及びトリイ工作物(石積)の概要説明をする中川県議(読谷沖)平成23年8月



沖合から見る工作物の現状を示唆する中川県議

トリイ工作物撤去 米軍、1週間で終了予定